

このご案内を見た方はどなたでも講座へ参加ができます。

お申し込み



住まいに関する不安や疑問を解消！

「いつも」

「もしも」に 役立つ！

バツグンに心地よい住まいの整え方

ウィズ  
コロナ

水災

レジリエンス  
住宅のすすめ

参加費 各回 1,000 円

会場 ZOOM でのオンラインセミナー

諸事情により生活クラブ生協狭山生活館での会場開催から  
オンライン開催に変更しています。

## 災害時も 日常時も 役立つ フェイズフリーとは？

7/26  
(火)  
13:30 ~ 15:30

フェイズフリーとは、身のまわりにあるモノを、日常時にも災害時にも役立つように整える方法。もしもからの、現在の住まいでも役立つ考え方をお話します。

終了しました



(株)アトリエ・ヌック建築事務所  
勝見 紀子

## 自然にスッキリ片付く収納 見直すなら今。

9/28  
(水)  
13:30 ~ 15:30

毎日の暮らしに合わせた収納を考えることは、心地良い暮らしにつながります。老後も自立して暮らしやすく、災害時にも役立つ収納についてご紹介します。早速、実践してみませんか。



mokki 設計室  
工藤 タ佳

## おうち時間をより快適に！楽しく！

10月

おうち時間が長くても息が詰まらない、快適な住まいにするには？自分の居場所をどうつくる？もしもの時の在宅避難にも役立つアイデア等をご紹介します。



アトリエ海  
中村 展子



(株)トモニ  
齊藤 元彦

## 「いつも」も「もしも」も 健康には、住まいの断熱が効果的。

11月

住まいの断熱をきちんとしておく、日常時はもちろん、「もしも」の時も、家族の健康を守ってくれます。狭山市のOさんが実践した住まいのリフォームについて、Oさんからの体験談も交えて、ご紹介します。



こもり設計室  
小森 正和



■8月23日(火) 14時~15時30分 『これから始めたいこと』  
■9月16日(金) 14時~15時30分 『改憲って必要なの？』

つながる・話す  
元気になる！

参加費無料、出入り自由です(^^)/  
お申し込みいただいた方に Zoom アクセスの ID・パスコードをおとどけします



生活クラブ生協・大人の学校共催  
 〈食と環境カレッジ2022〉 7月22日開催

第2回『ゲノム編集食品の真実  
 ～タネから考えるわたしたちの未来』

(以下報告)  
 遺伝子組み換えのメリットとして掲げられてきたことが、実際には全く逆効果になってきていることが近年の調査やデータから次々と判明してきました。遺伝子組み換えを推進してきた企業は、遺伝子組み換え作物の耕作地が減少・頭打ちになってきた危機感から、「新しい夢の技術」としてゲノム編集技術を推し進めようとしています。

でもゲノム編集は、「特定の遺伝子を破壊し、その壊された遺伝子が元に戻るかどうかは運任せ」という従来の遺伝子組み換え技術よりもっと質(たち)の悪い技術なのに、推進企業やそ

食と環境カレッジ2022第2回は、食べ物としての安全性や環境への影響もわかっていないゲノム編集食品の最新情報について、印

に賛同する政府は「遺伝子を組み換えしていないから在来物と同じ」と詭弁を弄していま

吉田奈緒子さんオンライン講演会 7月14日開催  
 産業文明から「プラグを抜く」生きかた  
 フリーエコノミー(無銭経済)の提唱者  
 マーク・ボイルに学ぶ



訳された吉田奈緒子さんに、ボイルさんの生きかたやご自身の半農半翻訳生活についてお話しいただきました。

29歳から3年間まったくお金を使わずに暮らし、現在は電気もガスも水道もない自作の小屋で自給自足生活を送るアイランド人のマーク・ボイルさんの著書4冊を翻訳

(アンケート回答より抜粋)  
 ●丁寧なお話の進め方、話し方がとてもよかったです。1冊目の「ボクはお金を使わずに生きることにした」を読んだが、大変そうだな暮らしが気になり、お金を使わないことの哲学や意味をとらえきれていなかったと反省している。今日、吉田さんが整理して伝えてくださ

●まさに適任の方が翻訳をしてくださったと感じた。質問へのご回答もマーク・ボイル氏の主義を完全に理解されて代弁されたかのようだった。「プラグを抜く生きかた」は、これからの社会において、決して他人事ではなく自分事として捉え、思想としてだけでなく、身近で出来ることから実行して意識を変えていくことが不可欠だと思う。

●人間も自然の中の一部という考え、方、また無償で与えることの喜び、自分の食べるものを自分で作るという困難ではあるが喜びであることを知った。3H(頭、手、心)が矛盾しない生きかたが本当に大事と思う。



【次回の予告】 申し込み受付中!  
 9月20日(火) 午後1時半～3時半  
 『食べ物の農薬汚染と子どもたちの健康』安田節子氏

お問い合わせ先  
 特定非営利活動法人 大人の学校  
 〒333-0857 川口市大字小谷場 206  
 生活クラブ生協内  
 電話/ファックス 048-423-3313  
 メール otonano-gakkou@cure.ocn.ne.jp

お電話の場合は平日の10時～16時、それ以外の日時や不在の場合は留守電にご用件を録音してください。折り返しご連絡いたします。

大人の学校 スタッフのつぶやき

暑くて暑くてと云いつつ、少しだけ体が慣れてきたような今日この頃。エアコンの部屋ではなく、窓を大きく開けて蚊帳をつけて寝ていた子供の頃が懐かしい…。昼間は暑くても夜になると涼しい風が入ってきて、心地よかったことを思い出す。今は住宅地ゆえエアコンの室外機からの熱風がさらに気温を高めるので、外気を遮断するために窓を閉めてクーラーをつける。そんな中、6月に我が家に来たのが川越の住宅地で保護されたキジバト。左翼がちぎれてしまっていることで終生飼養の判定で埼玉県からの保護依頼があって引き受けた。クーラーの部屋は嫌だよね、と思ひなるべく涼しく外が見え風の通る場所に。エサにも水にも苦勞しないケージで生かされてしまっていることを気の毒に思いつつ、人も鳥も同じ、せめて心地よい風を感じさせてあげたい…親心かな。(コッコ)